

中津川ロータリークラブから 体温測定サーマルカメラ装置を寄贈していただきます

中津川ロータリークラブから新型コロナウイルス感染症対策として、体温測定サーマルカメラ装置一式を寄贈していただきます。

■ 日時

令和2年6月11日（木曜日） 11時00分から

■ 場所

中津川市民病院 正面玄関（中津川市駒場1522番地の1）

■ 寄贈品

体温測定サーマルカメラ装置 一式
（設置場所）総合病院中津川市民病院 正面玄関

■ 寄贈者

中津川ロータリークラブ 会長 吉川 義康 様

■ 受領者

総合病院中津川市民病院 病院長 安藤 秀男

■ 寄贈目的

新型コロナウイルス感染症対策強化のため

■ その他

サーマルカメラとは、最大20人の検温を同時測定でき、体に密着させないことと、人を滞留（密集・密接）させないことで、スピーディーな検温が可能となり、効率的に感染リスクの防止が実現できる検温システム機器で、消毒剤や拭き取りの必要もなくコスト削減にもつながります。

■ 中津川ロータリークラブの概要

中津川ロータリークラブは1958年に創設され、2018年には60周年を迎えられ、「広げよう奉仕の輪、輝こうロータリアン」をテーマに、奉仕の理念を奨励し、それを育むことで地域社会に貢献されています。

お問い合わせ先

病院事業部 総務人事課 担当者：尾関 孔示
電話：0573-66-1251（内線4507）